

デビュー25周年 47+1 都道府県ツアー

吉田兄弟

極生

三重公演

スピーカーを一切使用しない津軽三味線の生音の響きだけで聞かせる
吉田兄弟による特別な音楽会!



令和6年7月7日(日) 14:30 開場
15:00 開演

亀山市文化会館大ホール

●入場料/全席指定 5,000 円(税込)

5月6日(月・祝)前売開始

※チケットのご購入はお一人様5枚まで。
※車イス席希望の方は、チケットご購入後事前に主催者までお知らせください。

前売所

・亀山市文化会館・亀山エコ案内所・鈴鹿ハンター・青少年研修センター・フジヤ・(一社)亀山市観光協会
・チケットぴあ(Pコード:269-833)・ローソンチケット(Lコード:45135)

- ◆主催 公益財団法人亀山市地域社会振興会(亀山市文化会館)
- ◆後援 レディオキューブFM 三重/三重テレビ放送/亀山音楽協会
- ◆お問合せ先 亀山市文化会館 電話:0595-82-7111



▲会場アクセス

Yoshida Brothers



【吉田兄弟プロフィール】

2024年、デビュー25周年を迎える津軽三味線の第一人者、吉田兄弟。北海道登別市出身。ともに5歳より三味線を習い始め、1990年より津軽三味線奏者初代佐々木孝に師事。津軽三味線の全国大会で頭角を現し、1999年アルバム「いぶき」でメジャーデビュー。邦楽界では異例のヒットを記録し、2003年の全米デビュー以降、世界各国での演奏活動や国内外問わず様々なアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。2015年には「連載完結記念NARUTO-ナルト-展」とコラボした楽曲「PRANA」がリリースされ大きな話題となった。また、良一郎は代表的な和楽器による学校公演を中心とした新・純邦楽ユニット「WASABI」を始動させ、健一は平成27年度文化庁文化交流使としてスペイン・バルセロナに滞在し活動したことをきっかけにバルセロナ高等音楽院で津軽三味線講義を開始。2017年は映画『KUBO/クボ二本の弦の秘密』（アカデミー賞ノミネート作品）日本語吹替え版主題歌として「While My Guitar Gently Weeps」で参加。また、約3000万回再生を誇るレッドブル・アスリート、ジェイソン・ポールによるパルクール映像のBGM「Cool Spiral」を提供。2019年はヲタ芸/サイリウムダンスの世界大会に、吉田兄弟×Tom-H@ckCYALUME DANCE WORLD BATTLE テーマソング「雷 -IKAZUCHI-」を提供。『東京2020 オリンピック1年前セレモニー「1Year to Go!」』ではオープニングパフォーマンスを務めた。2020年7月から放送された『GIBIATE(ジビエート)』プロジェクトのアニメオープニングテーマ曲「GIBIATE」を、LUNA SEAやX JAPAN のギタリストとして活躍するSUGIZOと共同制作し発表。同年、「100年後に継承される新たな伝統を共作し、未来へ遺す」をテーマに、20周年特別公演『吉田劇場2020』を開催。MIYAVI、H ZETTRIO、華風月、Creepy Nuts とコラボレーション。2021年4月より放送されたTVアニメ『ましろのおと』エンディング主題歌の「この夢が醒めるまで feat. 吉田兄弟」を加藤ミリヤと共同制作。同アニメでは津軽三味線監修も務める。そして今年、初の試みとなる楽器とホールの響きだけでパフォーマンスを行う全編生音公演「デビュー25周年 47+1 都道府県ツアー 吉田兄弟-極生-」をスタート。世界に通用する唯一無二の津軽三味線アーティスト、吉田兄弟が日本全国を駆け巡る。